

新型コロナ緊急事態宣言発令中、不要不急の外出は控えること

新型コロナ、日本透析医会より速報発表され、全国の透析患者の感染者数70名、うち6名が亡くなる！

新型コロナウイルスの感染状況は、全国では、厚生労働省発表5月6日現在、感染者数1万5,354名、死亡者数543名、退院者数4,918名となっており、このような状況下で、日本政府は4月16日、全国に緊急事態宣言を発令し、5月4日には期間の延長を5月31日としました。佐賀県においても3月13日に初の感染者が確認されてから、今日までで45名に増え、ますます感染拡大が懸念されています。

透析患者においては、新型コロナウイルスに感染した方が、全国で70名、亡くなった方が6名(5月1日、日本透析医会より発表)で、死亡率が8.6%となっており、一般の方よりはるかに高率であります。また人工肺(ECMO)、人工呼吸器、酸素投与と、重症化になる方もいらっしゃいます。佐賀県では、透析医療従事者のご尽力と患者個人の感染予防により、透析患者の感染者0名となっていますが、今後も何処で感染するかわかりません。透析患者は、いろいろな基礎疾患をもっていますので、ひとりひとりが気を緩めることなく感染予防に意識を高め、不要不急の外出に努めましょう。

3つの密を避けましょう

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

①換気の悪い密閉空間



②多数が集まる密集場所



③間近で会話や発声をする密接場面



3つの条件がそろった場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!



※3つの条件のほか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

3つの咳エチケット



マスクを着用する(口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う

ソーシャルディスタンス



人との距離を1メートル以上、できれば2メートルあけてください

新型コロナウイルス対策の為
不要不急の外出は
控えましょう

外出先から帰った後、手洗いを忘れずに行いましょう

外出先でマスクを忘れずにつけよう

外出先で手洗いを忘れずに行いましょう

何も押さえ無かった場合、くしゃみや咳によって唾液は2mくらい飛びます。

接触感染に気を付けましょう

「接触感染」とは、感染者から出たウイルスを含む唾液や体液に触る事によって起こる感染の方法で、その体液に直接接触する事でも、物を介して間接的に触れる事でも起こります。「間接的に」というのは、例えば咳やくしゃみを押さえた手で電車の吊り革やドアノブに触る事で、そこにウイルスが付着します。そうすると、その後につり革やドアノブを触った第三者の手にウイルスが付着する事になり、その第三者がウイルスに感染する可能性がグーン!と高まってしまいます。



現在、ウイルスの物体表面上での生存期間は、空気中で3時間、布、銅や木材で3時間、ボール紙では24時間、プラスチックやステンレスの表面では72時間

(米疾病対策センター(CDC)とカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)およびプリンストン大学(Princeton University)の研究チームの発表)



では、手にウイルスが付着する事で、その人はウイルスに感染してしまうのでしょうか?・・・答えはNo! ウイルスは口や目から体の中に侵入します。つまり、ウイルスが付着した手で目をこすったり、物を食べたりする事で初めて感染を起こします。

ウイルスがついた手で目や口を触らない・手洗い、消毒した後、目や口を触る。

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪を外しておきましょう

- ① 流水でよく手をぬらした後に、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- ② 手の甲をのぼすようにこすります。
- ③ 指先・爪の間を念入りにこすります。
- ④ 指の間を洗います。
- ⑤ 親指と手のひらをねじり洗いします。
- ⑥ 手首も忘れずに洗います。

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。

●緊急事態の中ですので、通常の透析療法(治療時間など)が行えない場合があります。改めて自己管理(食事や飲料)に気を付けて備えましょう。

●透析施設では、集団で治療を行っています。ひとりひとりが「もらわない」「他人にうつさない」という意識を持つことが大切です。